

# カラオケ店における利用部屋決定システム

015117 須藤 大地

(指導教員 速水 治夫 教授)

## 1 はじめに

カラオケは若者からお年寄りまで幅広く親しまれている日本独自の文化である。

このカラオケを扱うカラオケ店を利用するとき、複数のカラオケ機種を扱っている店では、受付で、利用するカラオケ機を選択することになる。選択の仕方は、各メーカーの最新バージョンの特徴(音質が良い、機能が充実など)のみで比較して、部屋を選択するという方法が採用されている。しかし、カラオケ機というものは機種・バージョンによって機能に差が出るものである。つまり、最新機種の長所であってもバージョンによってはそれを満たさない可能性が出てくるのである。これは客側にとっては不満の残る結果となり、それによって店側にはクレームやイメージダウンという結果を引き起こしかねない。本研究ではこれらを改善すべく、システムを構築した。

## 2 目的

客が求める機能と実際に利用するカラオケ機の機能との不一致を減らし、客の不満をなくす。それによってクレームやイメージダウンをなくすことを目的とした。

## 3 構築システムの概要

### 3.1 利用環境

クレームを減らすための対策として、客には事前に性能を確認してもらうことにした。ディスプレイを2つ使用し、図1のように店用・客用として分け、利用機器の主な性能を客用のディスプレイに表示して確認をしてもらうという方法をとった。また、この2つのディスプレイはデュアルディスプレイとして動作させる。

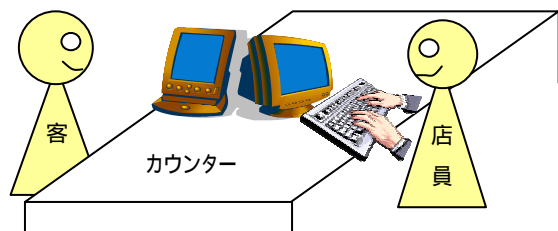


図1 利用環境

### 3.2 システム概要

操作は店員側のみが行えるようになっている。図2の客側に表示される画面とそれと繋がる店側の画面はデュアルディスプレイ機能を利用した部分であり、これらはそれぞれ同期的に更新される。

客は利用機種を選ぶ際にバージョンまで考慮して選択でき、選択した機器の性能を確認できる。また、空室状況をデータベースに保存することによって状況を把握できる。

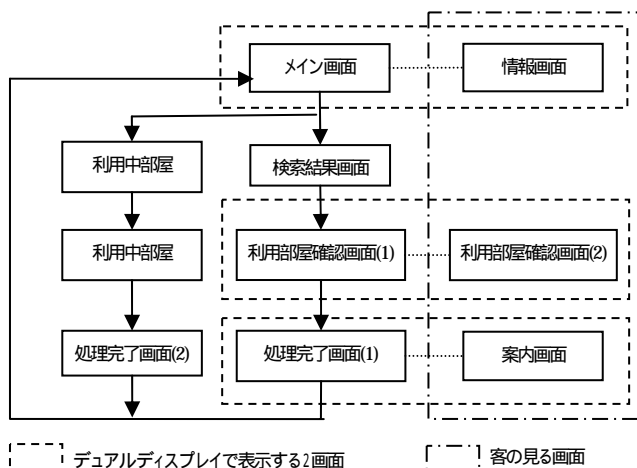


図2 画面構成

## 4 まとめ

デュアルディスプレイを利用した利用部屋決定システムを開発することができた。具体的には、カラオケ機のバージョンを考慮して選択できるようになり、事前に性能を確認できるようになった。また、簡単な操作で効率的に受付業務をおこなえるようになった。

また、カラオケ店関係者と一般の人々から「便利である」「不満につながりにくいだらう」という評価を得られたので、本研究の目標を達成できたといえる。

今後の課題として、利用終了時間の前に知らせるタイマー機能や検索結果の並べ替え機能などを追加するとともに、客がより満足できる部屋選びを目標として向上させていきたい。